

目 次

1	流域及び河川の概要	1
2	管内市町村の紹介	2
	1) 歴史と文化	2～3
	2) 面積及び人口	4
3	事務所の組織	5
	1) 組織図	5
	2) 職員構成	5
	3) 事務分掌	6
4	令和7年度事業計画	7
	予算事業内訳	
	1) 国庫補助事業	7
	2) 県単独事業	7
5	主要事業の概要	8
	1) 一宮川流域浸水対策特別緊急事業	8～15
	2) 河川整備計画における計画高水流量 配分図及び河川改修代表断面図	16～19
6	「一宮川流域」に関する情報発信	20
	1) 一宮川流域通信	20
	2) 一宮川工事現場見学会	21
資料		
	一宮川改修事務所関係 主な協議会・同盟会等一覧表	22
	一宮川改修事務所 歴代所長名簿	23
	一宮川改修事務所 沿革	23

1 流域及び河川の概要

長生地域は、房総半島の中央部に位置し、茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町の7市町村からなり、その面積は約327km²で、人口は約13.7万人（令和7年4月）を擁し、北は大網白里市及び千葉市、南は夷隅郡市、西は市原市、東は太平洋に面しています。

北西部を縦貫する圏央道と、南北方向の国道128号及び東西方向の国道409号の2路線のほか、茂原市を中心に放射状に延びる県道で結ばれ、地域間の交流が盛んで、産業や観光のポテンシャルが高い地域です。

一宮川は、長柄町刑部にその源を発し、茂原市街地で三途川、豊田川、阿久川、鶴枝川を合わせ、その後最大支川である瑞沢川を合流し、長生村の九十九里海岸で太平洋に注ぐ流域面積約203km²、幹川流路延長約37kmの二級河川です。

その流域は、茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、長柄町、長南町の6市町村にまたがり、長生地域の社会・経済・文化の基盤をなしています。

県では、令和元年10月25日の豪雨による一宮川流域における甚大な水害を含め、過去30年間で4度の浸水被害が生じた事を踏まえ、河川整備と流域市町村が行う内水対策、土地利用施策が連携した「一宮川流域浸水対策特別緊急事業」を実施し、令和元年10月豪雨と同規模の降雨に対して、令和11年度末までに家屋や主要施設の浸水被害ゼロを目指しています。

また、当該事業を迅速かつ着実に推進するため、令和2年4月1日より一宮川改修事務所を開設し、併せて、気候変動による水害の激甚化、頻発化に備え、流域のあらゆる関係者が協働して、流域全体で水害を軽減させる「一宮川水系流域治水プロジェクト」を推進しています。

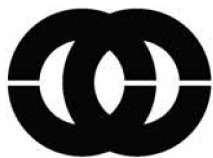
二級河川一宮川水系の法河川区間

河川名		支川	延長(km)	区間	
	読み方			上流端	下流端
一宮川	いちのみやがわ	本川	30.327	長柄町刑部	海
瑞沢川	みずさわがわ	一次支川	11.628	睦沢町妙楽寺	一宮川
埴生川	はぶがわ	二次支川	14.500	長南町市野々	瑞沢川
長楽寺川	ちょうらくじがわ	三次支川	4.120	睦沢町佐貫	埴生川
小生田川	おぶたがわ	三次支川	5.750	長南町市野々	埴生川
佐坪川	さつぼがわ	三次支川	1.800	長南町佐坪	埴生川
鶴枝川	つるえがわ	一次支川	6.250	長南町坂本	一宮川
阿久川	あくがわ	一次支川	7.633	茂原市長尾	一宮川
豊田川	とよだがわ	一次支川	7.220	長柄町味庄	一宮川
三途川	さんずがわ	一次支川	4.500	長南町千田	一宮川
水上川	みずかみがわ	一次支川	3.450	長南町笠森	一宮川
合計	11河川		97.178		

2 管内市町村の紹介

1) 歴史と文化

茂 原 市



昭和27年茂原町及び鶴枝・五郷・二宮本郷・豊田・東郷の各村が合併し市制が施行され、その後昭和47年に本納町と合併し現在の茂原市となった。

茂原地域は、かつて水草がよく繁茂した場所であったことから藻の原と呼ばれていた（後に藻原）。これは市内にある貝層や湿地帯の場所が多いことからもうかがい知れる。

現在、茂原と記載されている古い記録は、永禄6年（1563年）藻原寺山門にある仁王像の胎内から出てきた棟札に「上総国茂原常在山妙光寺」と書かれているものが初見である。

令和2年2月に開通した茂原長柄スマートインターチェンジにより、地域間の交流や産業の活性化も期待されている。

一 宮 町



明治4年の藩制廃止後の14年に新筈村と一宮本郷村が合併し一宮町が誕生した。その後、昭和28年に東浪見村が合併し、続いて29年に船頭給、30年に新地・宮原が長生村から分村合併し、現在の一宮町に至っている。町制がしかれて100有余年と歴史と伝統の町である。

奈良時代には、玉前神社が上総の国一ノ宮の格式となり近隣30数ヶ村の氏神として祭られてきた。この玉前神社の十二社まつりは、通称裸まつりともいわれ裸の若者たちにかつがれた神輿が九十九里の波打ちぎわをひた走る姿は勇壮そのものである。

睦 沢 町



昭和30年に土睦村と瑞沢村及び東村（森・長楽寺）の一部が合併し睦沢村として誕生し、その後の58年に町制が施行され睦沢町となった。

睦沢町の台地には、前方後円墳や円墳、横穴墓が多く所在しており、縄文～弥生～古墳時代の土器や鉄製品が出土し、古代より人々の生活があったことが知られている。

長 生 村



昭和28年、町村合併促進法の施行により、旧八積村、高根村、一松村が合併して長生村が誕生した。

太古の時代は遠浅の海底に当たる土地であったと推測され、近代になってから急速に開拓が進んだと伝えられている。江戸中期から地引き網の普及と豊漁によって、岡集落から海岸への移住や分家も多くなり、納屋集落が形成された。しかし、慶長・元禄の大地震による津波は大規模なもので、一松全域を襲い壊滅的な大被害を受け、今でも一松にはその供養塔が多く見られる。また、岩沼地区皇産霊神社に伝わる「岩沼の獅子舞」は千葉県無形文化財に指定されている。

白 子 町



昭和30年、白潟町、関村、南白亀村が合併し白子町が誕生した。新町名は、旧郷社白子神社の名称にもとづくもので、三ヶ村が産土神のもと永遠に睦まじく力をあわせるという意味が強くこめられている。

九十九里浜では、豊富な漁獲を背景に地引き網が行われているが、中世末期の弘治元年（1555年）紀州の西宮久助が当地域の南白亀浦に漂着し、同地の長嶋丹後の家に身をよせ、その返礼として、はじめて地引き網の漁法を伝えたことから、九十九里地引網漁の発祥の地といわれている。

長 柄 町



昭和30年、長柄村、日吉村、水上村の3村が合併し、現在の長柄町が誕生した。

房総半島のほぼ中央部の丘陵地に位置する山紫水明の町で古くから人が住み、旧石器時代の石器、縄文時代の石器、縄文土器の出土する遺跡や横穴墓群が点在している。横穴墓群は、崖面や山腹などに横穴を掘りこんだ上総地方に特徴的な「高壇式」横穴墓で全国的にみても特筆すべき重要性をもつものである。平成7年には国史跡に指定され、後世に残すべき文化遺産として保存整備を行っている。平成22年4月には「史跡長柄横穴群資料館」が完成し、横穴墓を忠実に再現したレプリカが展示され、はとバスツアーなど多くの来館者が訪れている。

令和2年2月に開通した茂原長柄スマートインターチェンジにより、地域間の交流や産業の活性化も期待されている。

長 南 町



昭和30年2月に庁南町・豊栄村・東村・西村の1町3村が合併し、長南町が誕生した。

千葉県ほぼ中央に位置し、里山のある低山地帯で、九十九里浜に注ぐ一宮川水系の埴生川や三途川が流れる、水の豊かさと清らかさが誇りで、その水辺や水田にはホタルやサンショウウオが生息している。また、その河川沿いには広大な田園地帯が広がり、良質な米を生産している。

古くは城下町や宿場町として栄えた歴史をもち、日本唯一の「四方懸造」という構造で建てられた笠森観音をはじめ、歴史的文化財が数多く残された文化の香り高い町である。

2) 面積及び人口

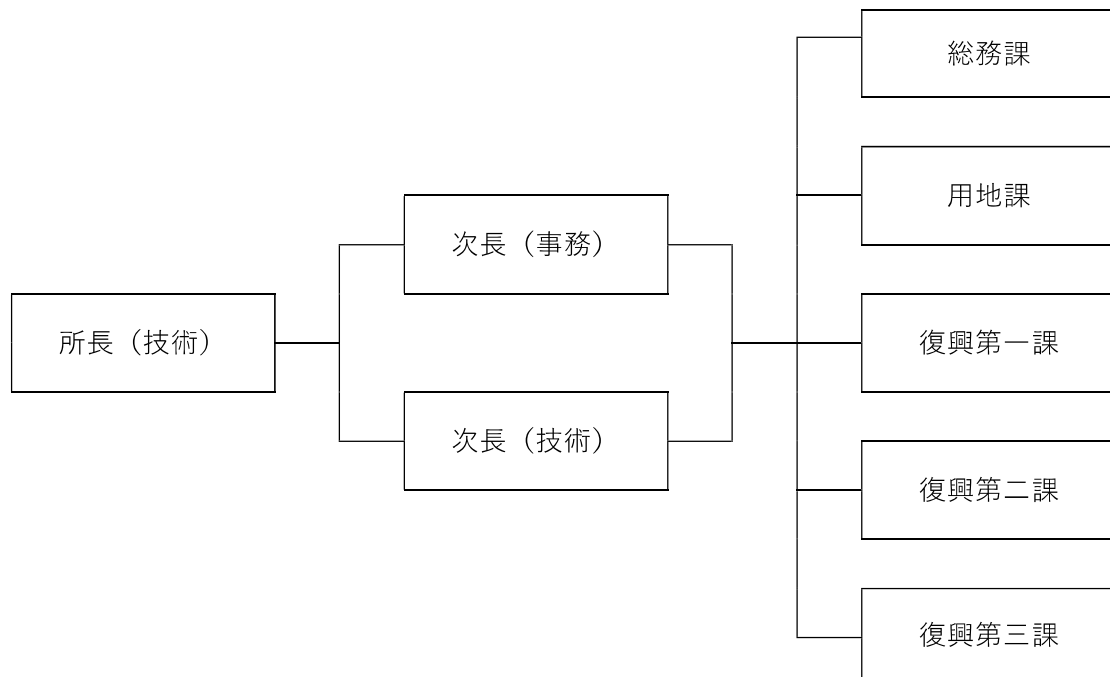
(令和7年4月1日現在)

市町村名	面積 (km ²)	世帯数	人口 (人)		
			総 数	男	女
茂原市	99.92	38,541	84,004	41,292	42,712
一宮町	22.97	5,285	11,870	5,812	6,058
睦沢町	35.59	2,494	6,324	3,059	3,265
長生村	28.25	5,590	12,927	6,362	6,565
白子町	27.50	4,169	9,546	4,765	4,781
長柄町	47.11	2,523	6,163	3,039	3,124
長南町	65.51	2,553	6,452	3,191	3,261
合計	326.85	61,155	137,286	67,520	69,766

東西 21.4km、南北 20.9km、周囲 92.0km

3 事務所の組織

1) 組織図



2) 職員構成

令和 7 年 4 月 1 日現在

			総務課	用地課	復興第一課	復興第二課	復興第三課	計
所長	(技)	1						1
次長	(事)	1						1
	(技)	1						1
課長	(事)		(1)	1				1(1)
	(技)				1	1	1	3
主幹	(事)							
	(技)							
副主幹	(事)							
	(技)				1	(1)		1(1)
主査	(事)							
	(技)				1	2		3
副主査	(事)			1(2)				1(2)
	(技)				1(1)	2	4	7(1)
主事	(事)		3(1)	3				6(1)
技師	(技)				1	2	2	5
計		3	3(2)	5(2)	5(1)	7(1)	7	30(6)

()内は兼務職員数で外数

3) 事務分掌

(1)総務課

- ・事務所の総合企画及び調整に関すること
- ・請負、入札及び契約に関すること
- ・機械器具の管理に関すること
- ・資材及び物資の需要調達に関すること
- ・庶務に関すること

(2)用地課

- ・土地等の収用、買収及び補償に関すること
- ・登記に関すること
- ・不動産の鑑定評価に関すること

(3)復興第一課

- ・一宮川（鶴枝川との合流点から三途川との合流点の区域）の改修計画、調査、設計、施工、監督、維持及び災害復旧に関すること
- ・広域河川改修事業に関すること
- ・一宮川河川激甚災害対策特別緊急事業（護岸法立て区間）に関すること

(4)復興第二課

- ・一宮川（鶴枝川との合流点から下流の区域）の改修計画、調査、設計、施工、監督、維持及び災害復旧に関すること
- ・一宮川河川激甚災害対策特別緊急事業（河道拡幅区間）に関すること
- ・一宮川河川改修事業に関すること
- ・流域治水に関すること

(5)復興第三課

- ・一宮川第三調節池の計画、調査、設計、施工、監督に関すること
- ・一宮川（三途川との合流点から上流の区域）及び三途川の改修計画、調査、設計、施工、監督、維持及び災害復旧に関すること
- ・一宮川支川（豊田川、水上川の改修区域）の改修計画、調査、設計、施工、監督に関すること

4 令和7年度事業計画

予算事業内訳（当初（含6月補正））

1) 国庫補助事業

事業名	事業費（千円）		
	繰越	現年	計
河川事業			
河川激甚災害対策特別緊急事業	3,360,418	0	3,360,418
広域河川改修（大規模）事業	31,933	0	31,933
広域河川改修事業	1,680,628	100,000	1,780,628
浸水対策重点地域緊急事業	1,118,868	800,000	1,918,868
河川災害復旧事業	22,250	0	22,250
国庫補助事業 合計	6,214,097	900,000	7,114,097

2) 県単独事業

事業名	事業費（千円）		
	繰越	現年	計
河川事業			
河川改良事業	147,041	569,500	716,541
河川調査事業	17,342	20,940	38,282
河川維持事業	230,148	79,000	309,148
水防事業（投資）	20,101	52,500	72,601
県単独事業 合計	414,632	721,940	1,136,572